

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2070200874		
法人名	社会福祉法人七つの鐘		
事業所名	つりがね草		
所在地	長野県松本市野溝東2-2-30		
自己評価作成日	平成 25年 12月 3日	評価結果市町村受理日	平成 26年 1月 24日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/20/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kihon:true&jiyosyoCd=2070200874-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	平成 25年 12月 13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・設隣するデイサービスと共同にて畑作りに取り組み、利用者と一緒に収穫を楽しんでいる。地域の画家の協力のもと安心して暮らせる環境にある。「安心の家」に置かれている為、小学生との交流があったり、隣には保育園があり、月1回の誕生日会や行事などの参加があり子供たちとの交流を図っている。・地域全体の防災への取り組みがしっかりしており、当施設も地域の一員として関わりを持つことがきている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長野道松本ICを降りて塩尻方面に向う途中、農耕地もある住宅地には神社やお寺があり、その中に2階建ての社員寮を改修した当ホームとデイサービスがある。平成23年6月30日、防災訓練当日の朝、近くを震源地とする地震に見舞われた。その地震災害を期に地域防災組織図が設けられるとホーム専属の防災担当者が配置された。今年度、運営推進会議の前に避難訓練が行われ、消防署員から具体的な指導や助言をいただいている。開設以降、年数を重ね、利用者と職員、ボランティア、住民との交流を深めてきた。利用者が特養等へ入所したことで利用者の構成が変わり、現在は新たな関係づくりに取り組んでいる。家族や地域のボランティアと大勢で出かける外出行事もあるが、現在90歳以上が4名で平均年齢が86歳の利用者間には身体レベルにも差があり無理もあることから職員と利用者2人または3人の少人数での外出を優先している。栗拾いに大勢で出掛けた時、利用者のあまりにも元気な姿や行動に驚き、元気な秘訣は何かと思いつくらし、その答えとして認知症とは関係なく自分たち誰もが生活の中で当たり前に行っていること、「喜怒哀楽」を出し自己表現することこそがその源かもしれないとホームの「つりがね草新聞」に載せている。利用者の「来年もまた参加したい」、「足腰丈夫でいたい」というそんな気持ちになれる行事をこれからも企画していきたいと職員も意欲を示している。敬老会で施設長から送られた言葉、「気・心・腹・口・命＝気はながーく、心はあるく、腹たえず、口つつめば、命がらえる」を、理念に次ぐ“幸せのあい言葉”として新たな道標に加わっている。利用者職員が活き活きしているホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		